NITO キュービクル式高圧受電設備

施工説明書/取扱説明書

ご採用いただきありがとうございます。施工前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
施工後は、所定欄に施工業者名を記入の上、お客様にお渡しください。この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- ⚠ 注意する
- ⃠ してはいけない
- ❗ 必ず守る

■施工上のご注意

⚠警告

- ⃠ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- ⃠ 通電中は内部に入らないでください。感電のおそれがあります。
- ❗ 関連法規を遵守して、正しい工事を行ってください。
- ❗ 工事は、引込開閉器を必ず切って行ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
- ❗ 正しい配線、接続工事を行ってください。誤配線があると発火、感電、故障の原因になります。
- ❗ 工事は、電源や信号を OFF 状態にして作業を行ってください。遠方操作信号や連動回路により突然動作し、感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
- アースせよ 接地線は、接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。
- ❗ 配線は適合した電線に圧着端子を使用し、導電部の接続ねじは表 1 の適正締付トルクまたは機器適正締付トルクで確実に締め付けてください。ねじが緩んでいると発熱、火災のおそれがあります。

表 1 適正締付トルク

ねじの呼び	締付トルク N・m
M 4	1.2～ 1.6
M 5 ※1	2.0～ 2.5
M 6	3.0～ 4.0
M 8 ※2	5.5～ 7.0
M10 ※3	13.0～20.0
M12 ※3	40.0～50.0

※1. M5 ソルダーレス端子は、1.6 ～ 2.0N・m
※2. ドライバー以外の工具で締め付けるねじは 8.0 ～ 13.0N・m
※3. ドライバー以外の工具で締め付けるねじに適用する

- ❗ 配線工事完了時、全ての導電部のねじを増し締めしてください。導電部のねじが緩んでいると発熱し、火災のおそれがあります。

初回増し締め実施日：　　年　　月　　日

⚠注意

- ⚠ 無断で改造などをしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。改造の必要がある場合は、必ず納入メーカーにご相談ください。
- ⃠ 通風口は塞がないでください。故障、発熱の原因になります。また、安全のため十分な保守・点検スペースを確保してください。
- ⃠ 通風口の付近に物を置かないでください。故障、発熱の原因になります。なお、規定された十分な保守、点検スペースを確保してください。
- ❗ 輸送、据え付け時などの吊り上げ作業は、正しい方法および手順を守って行ってください。落下、転倒によるけがのおそれがあります。
- ❗ 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの環境は避けて設置してください。
- ❗ 輸送、吊り上げ作業は落下させないよう、静かに行ってください。
- ❗ 箱体、チャンネルベースは取り付け面の水平を確認し、図面に指定されている全ての箇所を適切な太さのボルトで堅牢に取り付けてください。設置に不備があると事故の原因になります。また、基礎が水平でない場合、箱体に歪みが生じ、扉の開閉に支障をきたすおそれがあります。
- ❗ 通線穴加工時、収納機器に切粉やごみがかからないよう養生などの処置をしてください。切粉やごみがかかると感電、故障の原因になります。
- ❗ 保護継電器などの保護装置は、施工完了後正しく整定してください。
- ❗ サーモスタット、タイマーなどの機器は、関連要素を確認の上、正しく設定してください。設定が間違っていると動作不良や故障の原因になります。
- ❗ 施工および加工時に取り外した端子カバー、保護カバー、相間バリアなどは必ず元の位置に戻してください。感電、短絡事故のおそれがあります。
- ❗ 不具合が発生した場合は、速やかに電気主任技術者または専門業者に連絡してください。
- ❗ 線間での絶縁抵抗測定は、漏電ブレーカ、単 3 中性線欠相保護付ブレーカ、操作回路など、不具合の生じるおそれのある機器（回路）を外して電線間で行ってください。
- ❗ 連結箇所の多い多面体タイプの場合、図面上の寸法より若干大きくなる場合があります。設置時は図面に指定されている基礎ボルトの位置に確実に設置してください。また、連結部は隙間がないように設置してください。設置に不備があると事故・故障の原因になります。

⚠注意

設置環境は下記条件でご使用ください。
屋内などのように密閉された場所でのご使用の場合は、周囲温度が下記範囲内となるように換気などに十分ご注意ください。

屋内用の場合	屋外用の場合
・周囲温度：-5～40℃かつ、24時間の平均値35℃以下。 ・標　　高：1000m以下。 ・結露は収納機器に影響がない程度とする。 ・周囲の空気の高温、多湿、じんあい、煙、腐食性または可燃性の気体・蒸気、および塩分による汚染が発生しない場所。 ・キュービクルに対して、外部に起因する振動がない場所。 ・収納機器の操作が容易にできる場所。	・周囲温度：-20～40℃かつ、24時間の平均値35℃以下。 ・標　　高：1000m以下。 ・結露は収納機器に影響がない程度とする。 ・周囲の空気の高温、多湿、じんあい、煙、腐食性または可燃性の気体・蒸気、および塩分による汚染が発生しない場所。 ・氷雪により扉の開閉に影響が出ない場所。 ・キュービクルに対して、外部に起因する振動がない場所。 ・収納機器の操作が容易にできる場所。

■使用上および保守点検上のご注意

⚠警告

- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- 扉を開いて内部点検、操作は、電気工事業者または専門知識のある方以外は行わないでください。感電のおそれがあります。
- 通電中は、保護板を外さないでください。感電のおそれがあります。
- 通電中は、内部に入らないでください。感電のおそれがあります。
- 換気扇などの回転体には、手を触れないでください。人身事故の原因になります。
- 関連法規を遵守して、正しく安全に作業を行ってください。
- 扉を開いて内部点検、操作は、必ず開けた扉を固定してから行ってください。突風などにより扉に押され感電する危険があります。
- 点検時は、引込開閉器を必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
- 扉は必ず施錠し、鍵は関係者以外持ち出せないように管理してください。感電のおそれがあります。
- 断路器（DS）を操作する場合は、必ず遮断器（VCB）をOFFにしてから行ってください。人身事故、やけどのおそれがあります。
- 電源や信号をOFF状態にして作業を行ってください。遠方操作信号や連動回路により突然動作し、感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
- 漏電ブレーカがある場合、保守点検時にはテストボタンによる動作確認をしてください。
- 定期的に電気工事業者または専門知識のある方に点検を依頼してください。点検を行わないと、事故の原因になります。
- 導電部の接続ねじは、表1の適正締付トルク（1頁）または機器適正締付トルクで定期的に増し締めしてください。

⚠注意

- 無断で改造などをしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。改造の必要がある場合は、必ず納入メーカーにご相談ください。
- 使用機器の中には有害物質を含む場合もあります。廃棄には十分注意してください。
- ヒューズ溶断後はヒューズ本体が高温になっている場合があります。交換の際はご注意ください。やけどのおそれがあります。
- 通風口の付近に物を置かないでください。故障、発熱の原因になります。なお、規定された十分な保守、点検スペースを確保してください。
- 試験モードで ON にしたまま現場を離れないでください。点検、試験時は機器のインターロックなどが強制解除されており危険です。また、試験完了後は必ず所定のモードに正しく設定してください。
- 弱電回路は絶縁抵抗を測定しないでください。故障の原因になります。
- 保護継電器などの保護装置は、保守点検後正しく整定してください。
- 保守点検時に取り外した端子カバー、保護カバー、相間バリアなどは必ず元の位置に戻してください。感電、短絡事故のおそれがあります。
- ヒューズが溶断した場合は、その原因を除いた後、必ず同容量、同形式のものと交換してください。機器損傷のおそれがあります。また、同一回路で複数使用のヒューズは 1 本の溶断でも全数取り替えてください。
- 線間での絶縁抵抗測定は、漏電ブレーカ、単 3 中性線欠相保護付ブレーカ、操作回路など、不具合の生じるおそれのある機器（回路）を外して電線間で行ってください。
- 定期的に交換する必要のある機器（例：バッテリーなど）は適宜交換してください。
- 碍子などの絶縁材料および機器の絶縁部分は定期的に清掃してください。
- 遮断器など、定期的な保守点検の必要な機器は、機器取扱説明書に従い行ってください。

施工業者名 TEL	点検年月日 **※点検時にご記入ください。**
施工年月日　　年　　月　　日	年　月　日 年　月　日 年　月　日 年　月　日

お問合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL（0561）64-0152

運搬保護のため一時的に貼られている青テープは施工完了後に剥がしてください。
警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2020年7月
B984148001

NITTO KOGYO
日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地

©NITTO KOGYO CORPORATION